

軽井沢町議会

議長 佐藤 敏明 様

令和元年9月7日

報告者；会派公明党

川島 さゆり

コミュニティナースプロジェクト研修会報告書

- 1, 日時 令和元年8月23日（金）17時より
- 2, 場所 中軽井沢くっかけテラス2階多目的室
- 3, 研修参加者 真島聡子 川島さゆり
- 4, 研修目的
 - ・10月10日に社会常任委員会でコミュニティナース・訪問看護ステーションコミケアの視察を行うので、その前にコミュニティナースとは何かフィールドワーク活動の中での報告を体験させて頂き、事前学習として学ぶため。
 - ・どうしたら看護師確保ができるか学ぶため。
 - ・コミュニティナースの魅力を探るため。

◎研修内容 8月22日から24日まで、軽井沢町に、コミュニティナースの卵の第9期研修生のみなさんが全国から参集した。ここでは、「もし軽井沢町でコミュニティナースをしたらどんな事が出来るか」を探るため、町内3つの企業（農園・美術館・図書館）にグループでフィールドワーク活動をし、23日に報告会とワークショップを行う事になっていたため、そこに議員（有志7名）で参加させて頂き、情報共有させて頂きました。

○報告会、ワークショップ中心者

コミュニティナースプロジェクト事業責任者 森本健太氏

○交流会

コミュニティナースカンパニー（株）代表 矢田明子氏
コミュニケーター（育成講座事務局） 藤田奈津子氏
コミュニティナース研修生のみなさん

◎考察

毎年軽井沢で行っているコミュニティナースプロジェクト研修にご縁をさせて頂く機会に恵まれ、議員有志と参加させて頂きました。

全国から研修生の皆さんが集っており、中には医師の方もいらっしゃいました。初日は参加できず、2日目の3つの企業（農園・美術館・図書館）をフィールドワーク活動の場として「ここでコミュニティナースをしたら？」ということで、多くの可能性をグループごとの報告会でお聞きし、その後ありがたい事に、私たち議員もワークショップの中に入れて頂き、一緒に考える作業をさせて頂きました。

私が心に残ったグループは、中軽井沢図書館での報告で、「自殺予防」のために「心のカフェ」というコーナーをつくり、ハーブティ、アロマ、自然の美しい写真集の本などを置き、リラクゼーションの場にしたらどうかという提案があり、そこに図書司書も同席しており、「是非取り上げてみたい。」と言っていたことが印象的でした。他にも、消毒液のそばに感染予防の本を置いたり、医療情報の本と一緒に血圧計を置くなど、看護師の視点ならではの案が飛び出しました。他のワークグループでは、チャレンジショップの所にナースがいても良いのではないかと、本当に斬新な意見が出されました。

農園や美術館においても、外から軽井沢町を良く見て下さったなど感心した事があり、特に標高が高く息苦しいがこれを逆手にとって深呼吸をすることでヨガなどができるのではないかと。風がさわやかなのでハンモックでリラックス効果があるのではないかと等、これからの軽井沢町にとってヒントになることが多く出されました。

交流会で出会った精神科看護師の方に発達障がい者の事を伺った所、ご自分がコミュニティナースなら、どんどんアウトリーチして下さるとのこと。こういうことも可能なのかと改めて目から鱗でした。

一見、場違いな所に議員がいるような心配もありましたが、スーッと皆さんが受け入れて下さり、さすが素晴らしい優秀な看護師の皆さんだなと感心しましたし、新しいネットワーク構築にもなった事は感謝であります。

皆さんこれからそれぞれ地元に戻って素晴らしい取り組みをするんだろうなという思いと共に、この出会いに本当に感謝したいと思います。

今後、10月10日に本番の島根県雲南市視察が控えていますので、ここでの体験をもとにしっかりと結実した視察にして参りたいと思います。